



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

原点に還って、奉仕を実践しよう。



ロータリーに
輝きを

2014-2015 RY 会長メッセージ

第1124回例会 2014年7月2日 No.1093号

■ 会長時間

(※下記の「新年度会長卓話」をご覧ください)

今回の例会(7月9日)

決算報告・事業計画・予算説明

次回の例会(7月16日)

就任挨拶

副会長・正副幹事・理事・役員

出席報告 (例会運営委員会)

7月2日(水)出席者

会員総数	55名
出席会員	46名
欠席会員	9名
ご来賓	0名
ご来客	2名
ゲスト	1名

来客者紹介 (親睦家族委員会)

7月2日(水)出席者

広島中央RC	1名
広島西南RC	1名

幹事報告 (賀谷幹事)

■BOX配布物

- ・会員証を配布しておりますので、昨年のは破棄して下さい。
- ・カバナー月信最終号と7月号、ロータリーの友7月号を配布しておりますので、お持ち帰りください。

■例会変更

- ・広島西RC「夜間例会並びに会員懇親会」
【とき】7月17日(木) 18:00～ [※同日変更]
【ところ】うを久

■お知らせ

- ・次週の例会は決算報告・予算説明となりますので、ご出席下さいますようお願いいたします。



.....:SMILE BOX

瀬川長良 会員

本年度、SAA理事をさせていただきます。本年度は、メッセージを発表する前に起立してまいりますので、宜しくお願い致します。

武田龍雄 会員

この度の総代会で理事長に選任いただきました。微力ですが、頑張ってお参りますので、応援宜しくお願い致します。

鈴木大次郎 会員、小川嘉彦 会員、大場常幸 会員、山田和弘 会員、森川和彦 会員、川中敬三 会員

この度は、広島信用金庫理事長就任、誠にありがとうございます。今後のご活躍を祈念します。

川中敬三 会員

渡部丸の出航おめでとうございます。今年は頑張って船に乗り遅れないよう、又途中で下船しないよう努めます。

森川和彦 会員、古谷幸一 会員、鈴木大次郎 会員、森中祥二 会員

渡部丸の出航と航海の無事をお祈りしております。

下田敬三 会員

渡部年度のスタート。心からお慶び申し上げます。頑張りますよう。

渡部邦昭 会員、賀谷俊幸 会員

力は足りませんが、同級生同士力を合わせて、一年間一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。

当日計	100,000円	累計	100,000円
-----	----------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】渡部 邦昭 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F
【幹事】賀谷 俊幸 【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【TEL】082-221-4894
【FAX】082-221-4870

新年度会長卓話(1/3)

会長 渡部 邦昭



1. はじめに———ロータリーの原点を求めて

広島城北ロータリークラブのテーマを「心ゆたかなロータリアン」と決められたのは、初代会長二宮義人先生をはじめチャーターメンバーの方々ですが、「心ゆたか」とは、一言でいえば、思いやりと寛容の精神ということです。

2. ロータリーと資本主義

松井五郎ガバナーが、2710地区の地区大会などでよく言っておられました。生前「ロータリーの精神は資本主義の潤滑油である」ということを機会ある毎に話されていました。

私たちは資本主義の中で生きています。資本主義というのは「むきだしの資本主義」とか、強欲の資本主義、あるいは、修正資本主義とかいわれますが、本来人間の欲望に限度がなく、資本主義は暴走する宿命のようなものを背負っていますので、ブレーキとなるものが必要なわけです。

アダムスミスは『国富論』(1776年)において、「人々が分業することによって効率的に生産すれば人々の労働が生み出す価値(労働価値説)によって、人々は豊かになる、国家は介入すべきではなく、人々の自由な活動を保証すればよい、そうすれば見えざる手に導かれて経済は拡大し、人々も国も豊かになる。同様に、ひとつの社会で、人びとが全ての職業を一人で行うよりも、職業ごとに分かれ、それぞれが専門的な職務を果たす方が社会全体としては高い生産性を実現することができる。」旨を説いています。

しかし、アダムスミスは、個人の利己心に基づいた利益追求行動が社会全体の利益を無条件にもたらすと考えていたわけではないのです。(堂目卓生氏「アダム・スミス」より)見えざる手によって経済がうまく循環してゆくためには、前提があることを「道徳感情論」(1759年)で述べています。そこでは、分業を担当する者相互に、他人をみて自分のことのように痛みを理解し、思いやる精神を共感できること、資本家と労働者との間にもこの種の「共感」が成立していることが前提であるということを説いているのです。

松井五郎ガバナーが説かれた「ロータリーの精神は資本主義の潤滑油である」というのは、アダムスミスの道徳感情論とつながっていると思います。

また、ジョンメイナードケインズは修正資本主義を唱えて、失業を解決するために、政府が介入すべきだ、有効需要を生み出すべきだ、と主張しました。

一時的には失業問題は解決するかもしれませんが継続性ある好循環をもたらすためには、自己と他者、資本家と労働者との間にアダムスミスの説く「共感」を成立させることが前提であるということです。

また、マックスウェーバーは「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」(1905年)において、資本主義の倫理をプロテスタントの禁欲に求めています。

禁欲とは強欲の表裏ですが、二宮義人初代会長が言われたように「こころゆたかなロータリアン」が増加して、「共感の輪」が広がれば経済における資本主義と政治の面におけるデモクラシー(民主主義)とが両輪となって、世界の指導原理として永続することになるのではないのでしょうか。逆に「共感の輪」が廃れ、ロータリーが危機に陥れば、それは資本主義とデモクラシーの危機でもあります。

水野和夫氏は「資本主義の終焉と歴史の危機」(2014年)の中で、危険な循環と瀬戸際の資本主義を論じておられます。今こそ、ロータリーの原点を再確認し、職業奉仕を実践することが求められているのではないのでしょうか。

3. ロータリークラブの誕生と時代的背景

ポールハリスは1905年2月23日に世界最初のロータリークラブをシカゴ市に創設しています。その時のアメリカは社会変動期で、資本主義の暴走によって、利己主義、悪徳商法など「身勝手な自由」が横行していました。荒廃した社会の中で、人間の絆を回復することが大切であることを悟り、一業種一人の相互扶助のクラブ構想が芽生えたとされています。

新年度会長卓話(2/3)

専門職業界を一人で代表することによって、単に社会のために何かをするだけでなく、お互いの職業を通じて会員相互の親睦と相互扶助に役立ち、新会員は新たな友人となり、真実にもとづく公正な取引はお互いの信頼感を深める。会員が多くなれば、共感の輪は広がってゆく。会員は善意で親睦と友情の精神にあふれた人でなければいけない。このような精神をもった会員がロータリークラブを結成し、善意と寛容と共感から奉仕へと発展してゆく基礎となります。以上がポールハリスがロータリークラブを創設した理由の概要です。そのために、別紙の

- ・ロータリーの目的(第1乃至第4)
- ・ロータリーの理念(1乃至4)
- ・4つのテスト(1乃至4)
- ・ロータリーの行動規範(1乃至8)

を是非とも繰り返し精読して理解し実践して下さい。

職業人が職業上の高い道徳的水準を保ちながら、職業を通じて奉仕する機会とする、日々奉仕を実践すること、奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的なネットワークを通じて国際理解、親善、平和を維持すること、がロータリーの目的であります。職業奉仕が基本であるということは以上のようなことからであります。

ロータリアンの行動の指針として4つのテストが推奨されています。ポールハリスが説いているところは、アダムスミスの道徳感情論と繋がっていて、松井五郎ガバナーの「ロータリーの精神は資本主義の潤滑油である」と説いていたこととも相通じていると考えられます。そして、**奉仕は例会出席から始まる**ということです。クラブ奉仕を重視することによって、善意と親睦と友情を深め、職業人として職業を通じて奉仕を実践し、奉仕と信頼の根ざした共感の輪を拡げてゆくのです。そのために会員増強ということがいわれるのです。また、「**手に手つないで**」と**合唱するのは、共感の輪を拡げるため**なのです。要するに、ロータリーとは職業を通じて人のため世の中のためになることをしようという運動体なのだということでしょう。この基本を忘れてはいけません。そのことがロータリーの基礎なのです。

4. 職業奉仕とその他の奉仕活動

廣畑富雄氏(福岡西ロータリークラブ会員「ロータリーのこころと原点・・・基本に返ろう。(Back to Basics)」)によりますと、現在、RI主導で行われている、大部分の活動は、1960年代に始まりました。

- ・インターアクト
- ・ローターアクト
- ・青少年交換
- ・RYLA
- ・世界社会奉仕(WCS)
- ・ポリオ根絶(1985年～)

などが実践されるようになったといわれています。

これらの外部活動によって、多くの人々に喜ばれることは確かで、立派な活動ですが、「**ロータリーは一隅を照らす**」という外部活動に限局すべきであるという考え方が有力です。そのうえで、ロータリアンとしての世の中への貢献は、職業を通じての奉仕(service)が原点になると考えられるのです。

ロータリーが「例会を軽視する、職業分類を軽視する、傾向がでてきて憂慮にたえない」(ハロードトーマスRI会長)といわれています。

1960年代になって、ロータリーは外部活動を始めたようにいわれています。国際奉仕、青少年奉仕、社会奉仕、新世代奉仕など。ポリオの撲滅は素晴らしいことではありますが、このような外部活動がロータリーの本質ではないということです。仮に、外部活動が本質であるということになると、毎週例会に出席する必要もないのではないか、ということになりかねません。

世界的にロータリー会員数が減少し、例会の出席率が低下してきているのは、ロータリーの原点から離れてきていることに原因があるのではないかと、ということです。

新年度会長卓話(3/3)

ロータリーの5大奉仕ということが言われますが、ロータリーにおいては職業奉仕(vocational service)が基本であるということです。職業人として道徳的水準と倫理性を高め、実践してゆくことが求められるということでもあります。ロータリーとは職業を人のため、世のために役立つことを実践しよう、サービス精神(思いやりの精神)を持って人間活動の基本にするという運動であるということにほかなりません。

5. 魅力あるロータリーと例会出席

- (1) 例会は友人の集まりの大事な機会であることを確認してください。
- (2) サービス(奉仕)の心(思いやり、寛容の精神)を大事にして下さい。
- (3) ロータリーの目的、理念、4つのテスト、行動規範を理解し実践して下さい。
- (4) 最後に魅力ある例会にするため、理事者全員、卓話者の選定につきましては会員の意見を反映したいと思っておりますし、ロータリーの目的、理念にできるだけ沿ったものにしたいと考えております。一緒にロータリーを学び、奉仕を実践する年にしたいと思いますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

前年度会長 慰労感謝

森川直前会長、ご苦労様です。



米山奨学生

2014学年度米山記念奨学生の寿明(ジュメイ)さんが例会に出席しました。

